

日電精密工業株式会社

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年3月19日



大垣共立銀行とOKB 総研は、日電精密工業株式会社（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB 総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 日電精密工業株式会社の企業概要.....	1
(2) 日電精密工業株式会社の事業概要.....	4
(3) 経営理念	14
(4) サステナビリティ.....	15
2. インパクトの特定	20
(1) バリューチェーン分析.....	20
(2) インパクトマッピング	20
(3) インパクトレーダーによるマッピング	21
(4) 特定したインパクト.....	23
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	25
3. インパクトの評価	28
4. モニタリング.....	31
(1) 日電精密工業株式会社におけるインパクトの管理体制.....	31
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	31

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 日電精密工業株式会社の企業概要

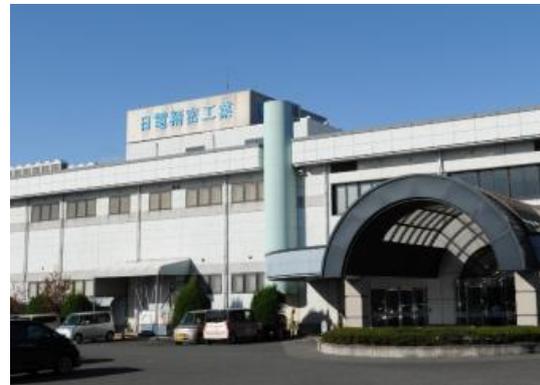
企業名	日電精密工業株式会社
創業	1949年
設立	1961年10月
代表者名	代表取締役社長 吉田 圭二
資本金	8,880万円
従業員	239人 (2025年12月時点)
売上高	80億円 (2025年9月期)
事業拠点	本社・工場 岐阜県大垣市三塚町 336-1 神戸工場 岐阜県安八郡神戸町下宮 480-1 安八工場 岐阜県安八郡安八町牧字南長田 4660
事業内容	・リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品の製造 ・プレス用精密金型、金型部品の製造 ・自動化装置、装置用金型、機械装置の設計、製造、販売
関連会社	日電精工株式会社 (プレス加工) 日精電子株式会社 (プレス加工) NICHIDEN SEIMITSU MALAYSIA SDN.BHD. (プレス加工)

日電精密工業株式会社

<本社・工場>



<安八工場>



<沿革>

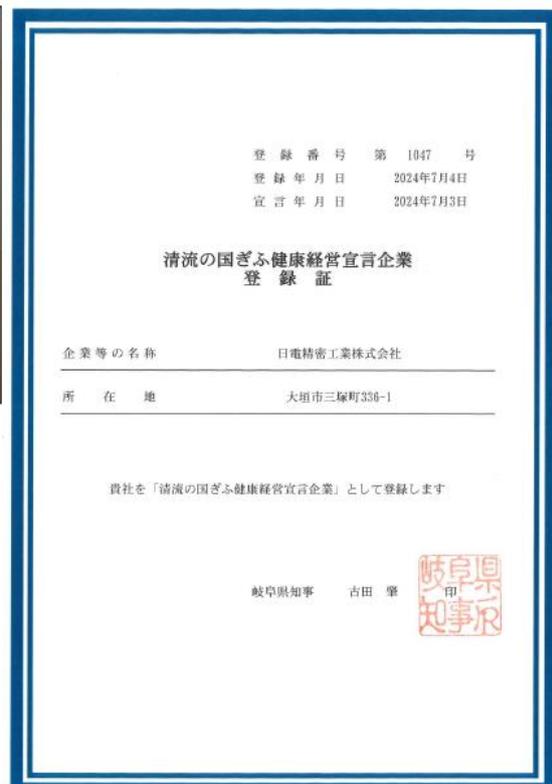
1949年10月	日電精密工業所として創業、通信装置用金型の受注を開始
1957年5月	トランジスター等半導体部品のプレス加工を受注開始
1961年10月	日電精密工業株式会社設立
1963年11月	IC用リードフレームのパンチング加工を開始
1965年10月	東京営業所を開設
1967年5月	関連会社日電精工株式会社を設立
1969年4月	神戸工場を新設
1970年3月	社員会館を新設
1984年12月	関連会社日精電子株式会社を設立
1990年7月	労働大臣優良賞を受賞（安全）
1992年2月	安八工場を新設
1996年9月	TPM 優秀賞第一類を受賞
1997年10月	NICHIDEN SEIMITSU MALAYSIA SDN.BHD.を設立
1998年3月	ISO9002 認証
2002年4月	ISO9001：2000年版認証
2003年10月	ISO14001 認証
2005年11月	ISO14001：2004年版認証
2006年8月	NICHIDEN SEIMITSU MALAYSIA SDN.BHD. ISO14001：2004版認証
2007年9月	安八工具工場を増設 日精電子株式会社第3工場を増設
2010年9月	NICHIDEN SEIMITSU MALAYSIA SDN.BHD. 第2工場を増設
2014年4月	自動化装置の製造販売を開始

2016年8月	岐阜航空機部品クラスター「GACCT」を設立
2016年10月	2016年国際航空宇宙展に岐阜県航空機部品クラスター「GACCT」から出展
2017年5月	JIS Q 9100 認証
2017年12月	経済産業省「地域未来牽引」企業」全国 2,148 社（岐阜県 36 社）に認定
2019年2月	エネルギー管理優良事業者等「中部経済産業局長賞」受賞
2021年10月	日本品質奨励賞 TQM 奨励賞を受賞
2023年12月	GeO ₂ （二酸化ゲルマニウム）による次世代半導体事業に参入
2024年3月	岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業に登録 SDGs 宣言
2024年7月	清流の国ぎふ健康経営宣言企業に登録
2024年10月	2024 国際航空宇宙展に出展
2025年3月	PARP（部分銅粗化鍍金処理）の量産決定

＜地域未来牽引企業＞



＜清流の国ぎふ健康経営宣言企業＞



(2) 日電精密工業株式会社の事業概要

同社は、日本のハイレベルなものづくり技術を職人の技と感性により創出し、超精密金型加工の半導体製品や自動車部品、美容、医療部品など様々な産業分野の製品を製造している。

【事業内容】

事業	種別	概要
精密金属 プレス	プレス加工	自社で作る金型を利用し、世界トップレベルの細かい「抜き」が可能
	スクラップ販売	不要になった金属製品や製造工程で出る金属屑の販売
	精密金型製作	自社の工作機械と加工技術を駆使し、高精度の金型製作を実現
	表面処理加工	金属部品に対する鍍金加工やコーティングを行う
	装置製作 (ismart等)	半導体の後工程 (トリム・フォーム・バーンイン・製品検査・マーキング) を自動化可能な製造装置を製作
	粗化鍍金*	粗化鍍金技術 (PARP) を用いたパワー半導体向け鍍金技術製品
	アモルファスモーターコア*	自社で作る金型を利用し、世界トップレベルの細かい「抜き」が可能
半導体 ウエハー 関連事業	GeO ₂ 成膜加工*	次世代半導体素材GeO ₂ (二酸化ゲルマニウム) の成膜加工
	GeO ₂ 成膜装置*	次世代半導体素材GeO ₂ (二酸化ゲルマニウム) の成膜装置の製造販売

* 新規事業として今後注力していく分野

同社の主たる事業である精密金属プレス業を支える技術等として、「プレス加工」、「精密金型製作」、「表面処理加工」、「装置製作 ismart」がある。

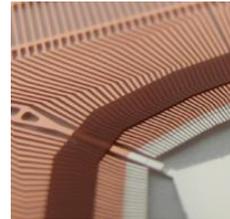
- プレス加工技術

- 1. “抜く”技術

「抜き」に関して徹底的にこだわった世界トップレベルの匠の技術。

- 細かく抜く

同社内で作る金型を利用し、世界 NO.1 の細かい抜きができる。髪の毛を 2 分割できるレベル。最も基本的な「抜き」に関して、同社が徹底的に追求した。



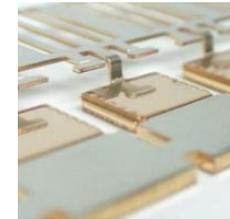
- 鋭く抜く

打ち抜くだけで刃物を作ることができる。電気カミソリの内刃、医療用メスにも使われている。



- 厚いものを抜く

放熱性を追求した、比較的厚い板厚（3mm 程度まで）の部品にも取り組んでいる。ヒートシンク全般、半導体のパワーデバイス等の部品の一部に採用されている。



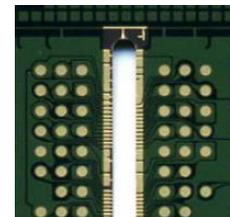
- 薄いものを抜く

紙ほど薄い金属材料を正確に、速く、きれいに打ち抜くことが可能。モーターに使用される金属部品の一部で、板厚 0.03mm の採用実績がある。



- 金属以外を抜く

金属以外の素材も抜き加工している。半導体で使用されているリード固定用テープ。ルーター加工でしか出来ないはずの削り加工部を抜き加工に変更した樹脂基盤。「細かく抜く技術」を利用し、色々な素材に挑戦している。



2. “加工”技術

ミクロン単位の超精密の曲げ加工やゴムと金属の組み合わせは 30 年以上の実績。

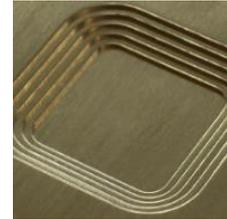
➤ 曲げ加工

ミクロン単位を狙った超精密の曲げ加工が可能。同時に、製品を積み重ねることを考慮した曲げ加工も提案できる。多くの半導体部品で、チップを搭載する部分（アイランド部）の曲げ加工に使用されている。



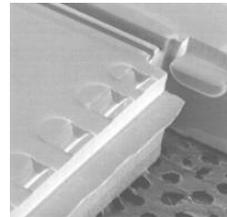
➤ 半抜き加工

プレス加工において、板厚の半分程度まで抜いた状態を正確に繰り返し再現可能。曲げと異なる製品形状が確保できる。



➤ 潰し加工

樹脂密着を目的とした部分的な潰し。平坦面を確保する目的のコイニング等、高精度のプレス金型を利用した加工が可能。



➤ 絞り加工

加速度センサー、ガスセンサー等のボディ部品の一部に多く使用される絞り品を作っている。細かい製品が主体。



➤ 複合加工

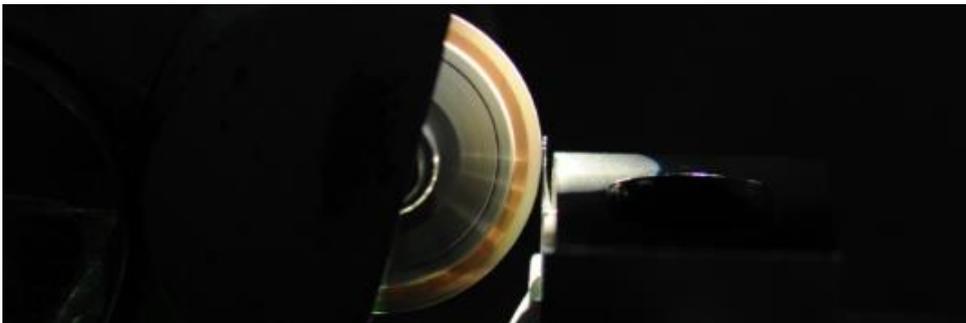
金属と金属、金属と樹脂等異なった素材を組み合わせた製品納入が可能。ゴムと金属部品を組み合わせた「包帯留め」は、30 年以上生産している。



- 精密金型製作

同社で保有する工作機械と、それを 100%利用した高い加工技術を駆使し、高精度の金型製作を実現している。すべてが自社対応であり、顧客の細かい要求を受け入れた金型を製作することができる。

- ① 顧客が要求する製品品質
- ② 実現するための金型（製品）設計
- ③ 実現するための金型加工
- ④ 高精度の金型を使用したプレス加工
- ⑤ 要求製品品質を確保した精密金型部品の納品



- 表面処理加工技術

- メッキ

色々な種類のメッキ加工が可能。Ag（銀）、Au（金）、Pd（パラジウム）、Ni（ニッケル）、Cu（銅）。スポット、フープ、全面それぞれ選択することができる。

- 熱処理加工

フープ形態の連続熱処理加工、製品 1 個単位のバッチ処理に対応可能。

- バレル処理

プレスのバリ取り、表面を平滑に仕上げる、表面を鏡面仕上げする、などの加工に対応可能。

- コーティング

素材表面を全面または、部分的に樹脂でコーティングする。また、樹脂コーティングされた表面をプレス加工することもできる。

- 粗化

リードフレーム基板を部分的に表裏粗化することや、銀表面を粗化状態にすることが可能。PARP により樹脂密着強度を極限まで高めることができる。

• 装置製作 : ismart (アイスマート)

➤ ismart とは

物理的に複数かつ独立して離れている機械や工程を、1つの箱の中に集約して製造ラインをまとめた装置。ismart を使えば、原材料の投入から完成品まで、1つの装置で製造が可能。



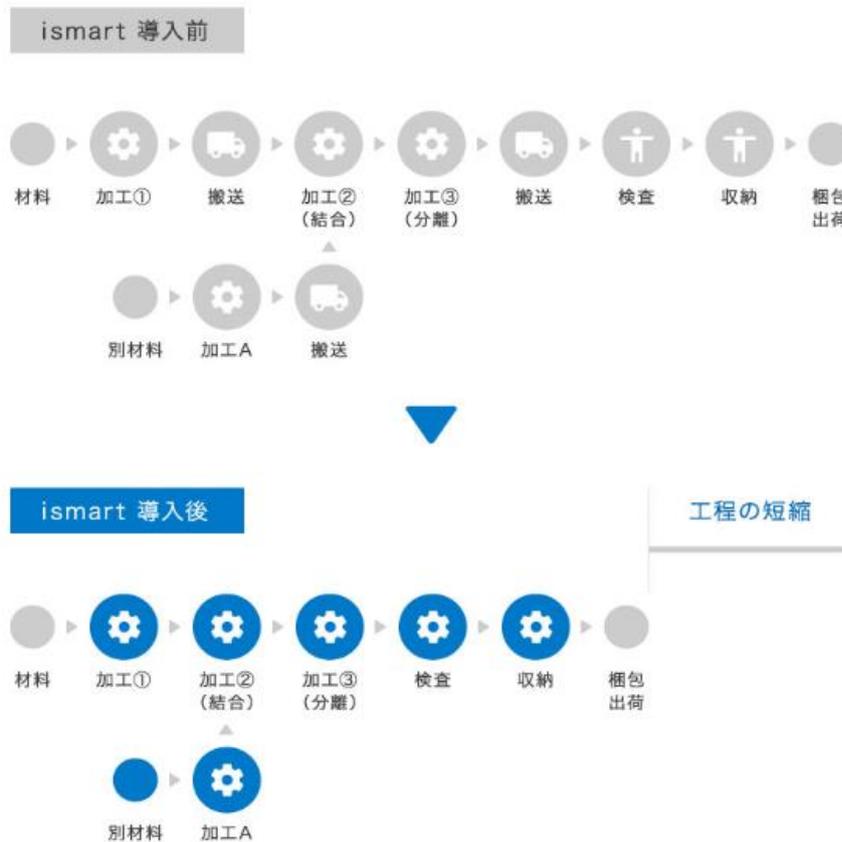
➤ 特徴

- ① 省スペース ⇒ 機械を置く面積が少なくなる。
- ② 省人化 ⇒ 機械を操作する人の数が減らせる。
- ③ スピードと効率アップ ⇒ 部品・仕掛品の移動や、機械の段取り替えの回数が減らせる。

➤ 導入イメージ

① 工程のスマート化

メイン工程の流れに、他部品が加工②で結合加工し、完成品ができるイメージ。



- 工程の「搬送」=移動、積み直し等がなくなる。
- 装置内で連続加工ができる。
(加工時間のタクト計算ができる = 出来高が一定)
- 画像機器を使って品質確認ができる。
- 製品収納まで一貫した流れ生産（工程短縮）になる。
(加工後、直接搬送せず、装置に直接供給し工程をつなぐことができる。)

② 機能のスマート化

手作業工程を ismart 装置で自動化（人作業から機械作業へ）

機能を充実し効率化



- 作業者の人数削減につながる。
- 生産量を増やすことができる。
- 工場のスペースが有効に活用でき、ライン数の増加が可能。
- 作業動線をシンプルにできる。4S の改善や労災事故の減少につながる。

【同社の強み】

- スマホや自動車など、人々が生活する上で欠かすことのできない製品に使われる半導体は世界的な需要拡大が見込まれる。同社は、その核となる IC チップを支えるリードフレーム用の金型を独自で製造することができる技術を有している。また、リードフレームの製造方法を中心に 18 件の特許を取得している。この精密微細加工技術が、大手半導体メーカーや大手自動車部品メーカーを中心とする多くの企業との取引を可能としている。
- 装置の設計、製造、販売、保守メンテナンスといったアフターフォローまで一貫して対応できる強みを活かし、独自開発したオリジナルブランド「ismart」（半導体工程装置）を販売開始するなど顧客のニーズに応えた事業展開をしている。
- 同社が受注した製品は、海外工場拠点を活かして世界各国へグローバルに展開している。アジア地域を中心とし、NICHIDEN SEIMITSU MALAYSIA から製品供給を展開し、日本のみならずアジアの顧客へのサポートが可能。

【今後の展開】

- 工場建設による事業拡大・生産性向上

自動車の電動化などで拡大する部品需要に備えるため、岐阜県池田町にリードフレームなどの製造工場を建設し、2028 年 3 月の稼働を予定している。積極投資で事業を拡大し、プレス機や自動搬送装置の導入などにより生産性を高める。



- 工場再編

① 製造拠点の専門性の深化

各工場の役割を明確化し専門性の向上を図る。同一業務を集約することで業務が集約化されやすくなり、生産性の向上と技術伝承の円滑化を実現する。業務標準化をスピーディに進めるため、「AI 活用の動画マニュアル作成ツール」を導入する。

② 製造工程の合理化

省力化を支えるロボットや製造設備の導入、生産管理の高度化に寄与する稼働監視システムの導入により、プレス加工を行う新工場、安八工場の生産性向上を図る。オイルプレス、ドライブス、鍍金の拠点を明確に分けることで、拠点間の仕掛品の移動を最小限に抑え物流を最適化する。

③ 新製品・事業開発へのリソースの再分配

粗化鍍金の量産化、アモルファスモーターコアの量産化、GeO₂成膜加工/成膜装置製造の開発・量産化を推進するため、工場再編で生産性を高め 20 名分を省力化し、当該 3 領域に専念させる。

<再編後の役割>

	再編後の役割	機能								
		プレス		鍍金 (既存)	自動化 装置製造	品質保証	粗化鍍金	アモル ファス	GeO ₂ 成膜加工	GeO ₂ 成膜装置 製造
		オイル	ドライ							
本社工場	自動化装置製造拠点 GeO ₂ 成膜装置製造拠点	/	/	/	○	/	/	/	/	/
安八工場	ドライプレス加工拠点 鍍金(既存・粗化)拠点	/	○	○	/	○	/	/	/	/
神戸工場	GeO ₂ 成膜量産拠点	/	/	/	/	/	/	○	/	/
日電精工工場	生産設備部の製造拠点 アモルファスモーターコア量産拠点	/	/	/	/	/	/	○	/	○
新工場	オイルプレス加工拠点	○	/	/	/	○	/	/	/	/

- 精密プレス事業における PARP（粗化鍍金技術）を用いたパワー半導体向け鍍金技術製品
高い放射性能が求められるパワー半導体の対応に必要な技術を業界で初めて開発した。（国内・海外特許出願済み）リードフレーム表面にクラスター状の粗化鍍金を短時間でを行い、半導体封止樹脂との高い密着性を実現する。成長市場であるパワー半導体のニーズを満たし、精密金属プレス事業の高付加価値化を図り、大手取引先からの量産依頼に対応する。

<期待効果>

① 競争優位性の確保

模倣困難な業界初の技術であるだけでなく、パワー半導体に求められる高い密着性を備える。

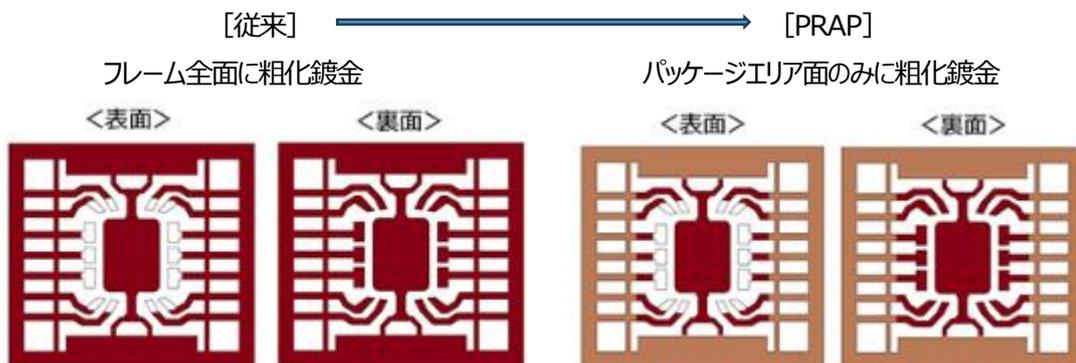
② 密着性の向上

封止樹脂との密着性を強化し、動作不良を防止。

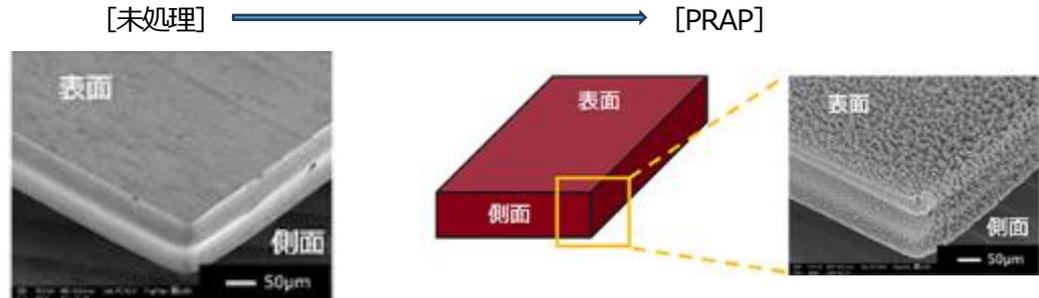
③ 量産化の可能性

従来の粗化鍍金と比較し、短時間での部分鍍金処理が可能となり、量産化を目指す。

➤ スポットに粗化鍍金を実現



- 側面に粗化鍍金を実現



- 銅粗化・銀粗化の両加工が可能

- 精密金属プレス事業におけるエネルギー効率の高いアモルファス金属を用いたモーターコア
電力効率や強度等の業界課題を解決するアモルファス金属を用いた革新的なモーターコアを製造した。
産業機器や電気自動車（EV）、航空宇宙分野など高効率モーターへのニーズに応え、大手取引先からの量産依頼に対応する。

<期待効果>

- ① 電力損失の削減
従来の電磁鋼板と比較して、鉄損を約 1/10 に抑え、エネルギー効率を向上させる。
- ② 小型化・軽量化の実現
極薄金属素材を活用することで小型化・軽量化を実現。
- ③ 耐久性の向上
適切な金型素材選定と超精密金型技術で数十万パンチまで業界に先駆けて連続生産を実現。

- 半導体ウエハー関連事業への進出

次世代半導体素材 GeO₂（二酸化ゲルマニウム）の成膜加工及び成膜装置の製造販売

次世代半導体材料として GeO₂が有力視されている。GeO₂は低損失化、小型化、高耐圧化が可能で、産業の効率化と環境負荷軽減を両立する革新的な素材。

同社は、大学発ベンチャー企業を中心とする官民連携プロジェクト「琵琶湖半導体構想」に参画し、30社を超える企業と協力体制を構築し、早期事業化を目指す。

<期待効果>

- ① 電力変換効率の改善
電力変換ロスシリコン素材の 1/10 に抑え、産業機器や変電設備の効率化を実現。
- ② 特性によるコスト削減
ワイドバンドギャップ特性により、低損失化・小型化を実現し、コストを削減。
- ③ 省エネ化の実現
電力変換ロスが少ないだけでなく高電圧・高周波でも性能が落ちないため、冷却による電力消費も削減可能。

同社神戸工場が有する高度なクリーンルーム設備が、製品に求められる厳格な品質基準を満たす上で不可欠として、同工場が新製品の製造拠点となり量産化を進めていく。

<神戸工場>



<クリーンルーム>



(3) 経営理念

同社は、変化する市場環境の中で、すべての従業員が自己の持つ能力を最大限に活かし、日々一歩ずつ前進し成長することで、「納期」「品質」「コスト」「サービス」において、お客様に「魅力ある会社」として必要とされ、信頼される企業を目指すべく以下の理念を掲げて、会社と従業員が一丸となって事業活動に取り組んでいる。

【経営理念】

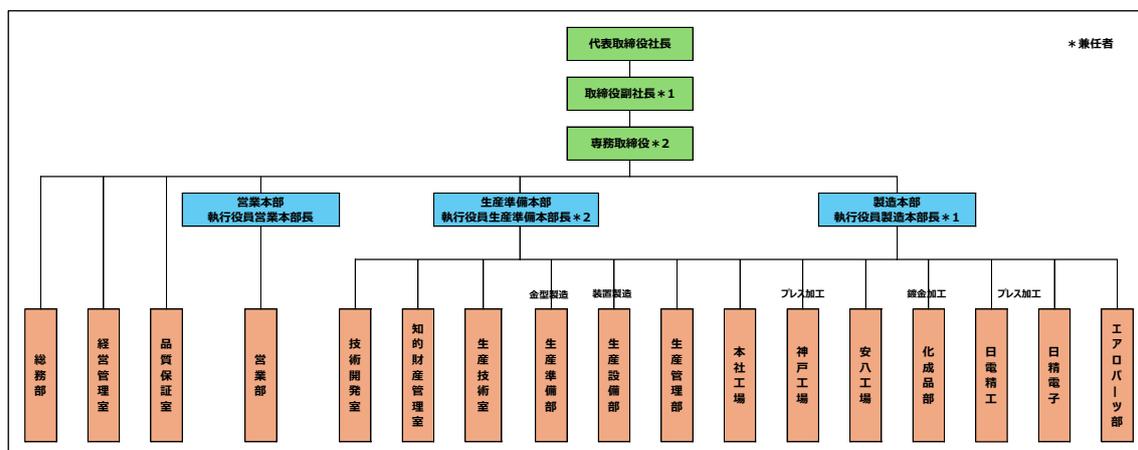
いきいき人で魅力ある会社づくり

【社是】

一歩前進

- 毎期9月中旬に来季の経営方針や経営目標を発表する中で、経営理念等についても発信している。
- 各部署に経営理念等を掲示し、全従業員への浸透を図っている。

【組織体制】



技術開発室：新規事業開発を行う。粗化鍍金、アモルファスモーターコア、GeO₂の新規3事業を推進。

生産準備部：主に社内向けの金型設計・製造を行う。

生産設備部：自社設備の内製、外販設備（ismart）の製造を行う。

化成品部：鍍金加工を行う。粗化鍍金の開発に関与。

グループ会社（日電精工・日精電子）：精密の工場の一部としての位置づけ。

(4) サステナビリティ

同社は SDG s 宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

<p>「SDG s 宣言」</p> <p>商品・サービス</p> <p>「細かい要求に応える経験と創造力」をもとに、お客様が抱える悩みを解決できる高品質な製品の製造を行うことで持続可能な産業と社会の発展に貢献してまいります</p> <p>環境</p> <p>社内の DX 化によるペーパーレスの取り組み等、限りある資源の使用削減を推進するとともに、廃棄物の適切な処理・環境基本方針の遵守等により環境負荷の軽減に努めてまいります</p> <p>人権・働きがい</p> <p>「月曜日会社へ行くのが楽しみになる会社」を目指し、風通しの良い労働環境の整備やダイバーシティ経営を促進し、従業員一人ひとりが健康で安全に働くことができる職場づくりに努めてまいります</p> <p>地域貢献・社会貢献</p> <p>社会インフラ上なくてはならない企業を目指し、事業を通じて地元地域の雇用創出に寄与し、持続可能な地域社会の実現へ貢献してまいります</p>

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 商品・サービス

- 極限まで追求した精密微細加工技術による魅力ある製品の製造
- お客様のニーズを追求した魅力ある製品の提供
- ISO9001 に準じた PDCA サイクルや品質目標の設定、徹底した管理による品質の向上



② 環境

- 照明設備の LED 化、省エネ設備の導入による CO₂排出量の削減
- 社内の DX 化等ペーパーレスの推進による紙資源使用量の削減
- ISO14001 に準じた企業活動の実施
- 有害化学物質の削減に向けた取り組みによる環境保全活動の推進

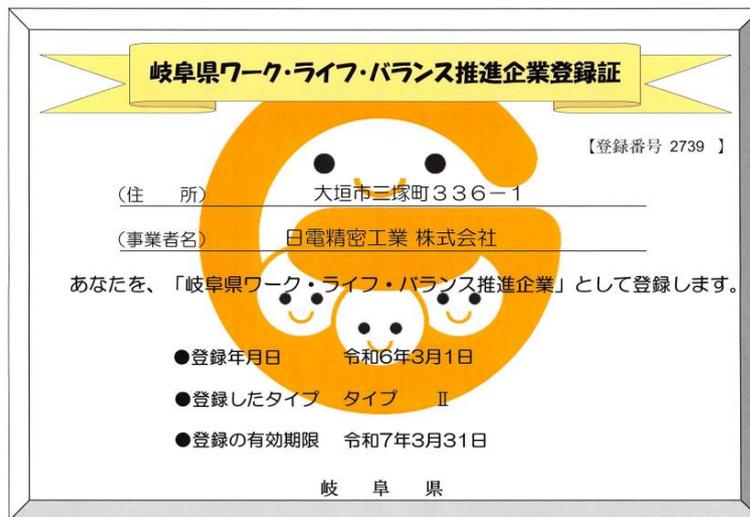


③ 人権・働きがい

- 人間ドックの実施徹底による従業員の健康増進
- 毎月2回のノー残業デー実施による従業員のワーク・ライフ・バランスの実現
- 年齢や性別、障がいの有無を問わず誰もがやりがいを持って働ける環境の整備
- 社員の習熟度に合わせて研修の開催による人材育成の実施



【岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業に登録】



④ 地域貢献・社会貢献

- 地元人材の積極的な採用による雇用創出
- 地元学生の職場体験受け入れによる教育支援の実施
- 週1回の安八工場周辺の清掃による地域活性化への貢献
- 地元イベントへの寄付の実施



その他 (SDGs 宣言以外)

- 職場体験学習の実施

同社安八工場において、登龍中学校 (安八町) の生徒 3 名を受け入れ職場体験を実施

検査機を使用した製品分析や製品検査、金型製作の体験を 1 日行った

<SEM 顕微鏡による分析の様子>



<検査機を使用しお札を拡大検査する様子>



<金型製作体験の様子>



- 品質・環境方針の宣言

“地球環境と調和した『ものづくり』を目指して”

<品質・環境方針>

日電精密工業グループ（日電精密工業株式会社、日電精工株式会社、日精電子株式会社は、極限を追求した精密微細加工技術をベースとして、金型・精密電子部品・複合部品・各種自動化装置の開発設計、製造、販売を通じ、お客様に魅力ある製品を提供する企業である。

当社は、利益創出を目指し、21世紀も反映し続けられる企業であるために、品質・環境について以下のことを宣言する。

1. 地球環境への影響を配慮した生産工程を通じて、お客様に満足して頂ける品質の製品を提供し続ける。
2. 事業活動、製品、サービスによる環境への影響を認識し、業務の効率化、省資源、不良や廃棄物の削減、再利用、電気等のエネルギー使用量の削減や地球温暖化防止に取り組み、地球環境への負荷を継続的に低減する。
3. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守すると共に、使用する化学物質、紛争鉱物の不使用、製品への有害化学物質含有の予防管理を行い、地域社会並びに地球環境の汚染防止を約束する。
4. 顧客の要求事項を満たし、継続的に品質を改善することを約束する。
5. 品質及び環境に対する目的・目標を毎年設定し、方針管理による展開を行い評価することで、目的・目標の定期的な見直しを行う。
6. この品質・環境方針は、文書化し、全ての従業員へ周知徹底するとともに、ホームページにて公開する。

<品質規格>

 <h2 style="text-align: center;">審査登録証</h2> <p style="text-align: center;">日電精密工業株式会社</p> <p>標記における品質マネジメントシステムは、当協会審査登録センターの審査の結果、付属書記載の範囲において下記適用規格の要求事項に適合しており、当センターに登録されていることを証します。</p> <p>適用規格：JIS Q 9001:2015(ISO 9001:2015)</p> <p>登録番号：JMAQA-2611 登録日：1998年3月31日 登録有効期限：2028年4月15日 登録改定日：2025年3月11日</p> <p style="text-align: right;">一般社団法人日本標準協会 審査登録センター 上級経営管理者 中村正己</p> <p style="text-align: center;">〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22</p>	 <h2 style="text-align: center;">審査登録証付属書</h2> <p>付属書番号：JMAQA-2611-1 登録番号：JMAQA-2611</p> <p style="text-align: center;">日電精密工業株式会社 岐阜県大垣市三塚町 336-1</p> <p>審査登録範囲： リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品及び金型部品の製造 金型及び自動化装置の設計、製造</p> <p>〈認証範囲に含まれる事業所〉 (本社工場) 岐阜県大垣市三塚町 336-1 精密プレス部品、電気部品用成形品、金型及び金型部品の製造 自動化装置の設計、製造</p> <p>(神戸工場) 岐阜県安八郡神戸町下宮 480-1 リードフレーム、精密プレス部品の製造</p> <p>(安八工場) 岐阜県安八郡安八町牧字南長田 4660 リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品の製造 金型及び金型部品の製造</p> <p>〈認証範囲に含まれる共同事業者〉 (日電精工株式会社) 岐阜県安八郡神戸町下宮 540-1 リードフレーム、精密プレス部品の製造</p> <p>(日電電子株式会社) 熊本県上益城郡益城町大字小池 977-1 リードフレーム、精密プレス部品及び金型部品の製造 金型の設計、製造</p> <p>登録改定日：2025年3月11日</p> <p style="text-align: center;">〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22</p>
--	--

<環境規格>

 <h2 style="text-align: center;">審査登録証</h2> <p style="text-align: center;">日電精密工業株式会社</p> <p>標記における環境マネジメントシステムは、当協会審査登録センターの審査の結果、付属書記載の範囲において下記適用規格の要求事項に適合しており、当センターに登録されていることを証します。</p> <p>適用規格：JIS Q 14001:2015(ISO 14001:2015)</p> <p>登録番号：JMAQA-E910 登録日：2003年10月31日 登録有効期限：2027年4月12日 登録改定日：2024年3月11日</p> <p style="text-align: right;">一般社団法人日本標準協会 審査登録センター 上級経営管理者 中村正己</p> <p style="text-align: center;">〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22</p>	 <h2 style="text-align: center;">審査登録証付属書</h2> <p>付属書番号：JMAQA-E910-1 登録番号：JMAQA-E910</p> <p style="text-align: center;">日電精密工業株式会社 岐阜県大垣市三塚町 336-1</p> <p>審査登録範囲： リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品及び金型部品の製造 金型及び自動化装置の設計、製造</p> <p>〈認証範囲に含まれる事業所〉 (本社工場) 岐阜県大垣市三塚町 336-1 精密プレス部品、電気部品用成形品、金型及び金型部品の製造 自動化装置の設計、製造</p> <p>(神戸工場) 岐阜県安八郡神戸町下宮 480-1 リードフレーム、精密プレス部品の製造</p> <p>(安八工場) 岐阜県安八郡安八町牧字南長田 4660 リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品の製造 金型及び金型部品の製造</p> <p>〈認証範囲に含まれる共同事業者〉 (日電精工株式会社) 岐阜県安八郡神戸町下宮 540-1 リードフレーム、精密プレス部品の製造</p> <p>(日電電子株式会社) 熊本県上益城郡益城町大字小池 977-1 リードフレーム、精密プレス部品及び金型部品の製造 金型の設計、製造</p> <p>登録改定日：2024年3月11日</p> <p style="text-align: center;">〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22</p>
---	--

2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、超精密金型技術とプレス加工技術を核に、リードフレームなどの半導体部品、自動車部品、医療・美容部品などを製造し、自社開発の半導体工程自動化装置も提供している。金型製作からメッキなどの表面処理、プレス加工、装置製造まで一貫して手掛け、取引先の微細な要求に応えることができるため、熊本県やマレーシアにも拠点を設け、国内外の大手半導体メーカーや大手自動車部品メーカーを中心に100社以上の取引先を持ち、幅広い産業を支えている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「金属の鍛造、プレス、打ち抜き及び圧延成形業並びに粉末冶金業（国際標準分類：2591）」、「金属の処理・塗装・機械加工業（同：2592）」とする。
- 川上の事業を、「金属及び金属鉱石卸売業（同：4662）」とする。
- 川下の事業を、「電子部品及び基板製造業（同：2610）」、「その他の特殊産業用機械製造業（同：2829）」、「自動車部品及び付属品製造業（同：2930）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン		川上の事業		同社の事業				川下の事業							
業種 (国際標準産業分類コード)		金属及び金属鉱石 卸売業 (4662)		金属の鍛造、プレス、打ち抜き 及び圧延成形業並びに粉末 冶金業 (2591)		金属の処理・塗装・機械 加工業 (2592)		電子部品及び基板 製造業 (2610)		その他の特殊産業用機械 製造業 (2829)		自動車部品及び付属品 製造業 (2930)			
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	人格と人の安全保障	紛争													
		現代の奴隷制度								●●					
		児童労働								●●					
		データのプライバシー													
	健康と安全	自然災害													
		健康と安全		●		●		●		●		●		●	
	資源とサービスの入手 可能性、アクセス可能性、 手頃さ、品質	水													
		食糧													
		エネルギー													
		住居								●					
		健康と衛生													
		教育													
		移動手段												●	●
		情報								●					
		コネクティビティ								●					
		文化と伝統													
	ファイナンス														
	生活	雇用	●		●		●		●		●	●●	●	●	
		賃金	●		●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	●	●●	
		社会的保護		●		●		●		●		●●		●	
平等と正義	ジェンダー平等														
	民族/人種の平等														
	年齢差別														
	その他の社会的弱者														
社会 経済	強力な制度、平和、安定	法の支配													
	市民的自由														
	健全な経済	セクターの多様性													
		零細・中小企業の繁栄	●						●		●		●		
インフラ	インフラ			●●		●●									
経済収束	経済収束														
自然 環境	気候の安定性	気候の安定性		●		●		●		●		●	●●		
	生物多様性と 健全な生態系	水域		●		●●		●●		●		●	●		
		大気		●		●		●		●		●●	●		
		土壌													
		生物種		●											
	生息地		●												
	サーキュラリティ	資源強度				●●		●●		●●		●●		●●	
廃棄物			●		●		●		●●		●		●		

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社・川下の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。

	大分類	インパクトエリア	インパクト		取組内容	対応するSDGs		
			PI	NI				
川上	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	「資材調達方針」を定め、含有化学物質に重点をおいた資材調達を実施している。	13.3	
		生物多様性と健全な生態系	水域 大気 土壌		○			
同社	社会	健康と安全	健康と安全		○	「岐阜県ワークライフバランス」推進企業の認定を受け、有給休暇の取得推奨、残業時間の削減に取り組むことで、従業員が健康に働くことができる環境を整備している。 2026年度中に「健康経営優良法人」の認定取得を検討している。	8.8	
		生活	雇用		○	QC検定、機械技能検定士等、業務に関する資格の取得に関する受験料の会社負担や講習費用の補助、資格手当を支給している。 地元人材を積極的に採用し、地域の雇用創出に貢献している。	8.5 8.6	
		平等と正義	ジェンダー平等		○	女性従業員の採用や管理職への登用等を積極的に行っていく方針である。	8.5 8.8	
	社会経済	インフラ	インフラ		○	ISO9001、航空機規格JIS Q 9100等を取得しており、品質が高く世界トップレベルの精密加工技術で、顧客ニーズに応えることができる。 自動化装置の設計・製造も行っており、製造業の生産性向上に貢献している。 成長ポテンシャルが高い「パワー半導体」「半導体ウエハー」事業等へ新規事業の拡大に取り組んでいく。 災害時の電源確保などの災害リスク対策を実施し、事業継続に対応できる体制を整えている。	9.1	
		自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	2003年よりISO14001認証を取得し、環境保護と経済活動のバランスを図りながら、環境パフォーマンスの継続的な改善を推進する経営を行っている。 CO ₂ 排出量を毎年1%の削減目標を掲げている。 電力使用量の削減、製品単位のCO ₂ 排出量の把握、工場のLED切り替え、営業車両・フォークリフトのハイブリッド車・EVへの切り替え、太陽光パネル設置などの施策を通じて、更なる削減に取り組む方針である。	7.2 13.3
			サーキュラリティ	廃棄物		○	作業工程で出る金くずは、全てリサイクル業者へ販売している。 社内業務のデジタル化により、社内資料のパーペチュアリティに取り組んでいく方針である。	12.5
川下	社会経済	健全な経済	零細・中小企業の繁栄		○	物理的に独立している機械や作業工程を集約する製造装置「ismart」の提供により、省人化、生産性向上に貢献している。	9.1	
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	同社は、電力効率や強度等の業界課題を解決するアモルファス金属を用いた革新的なモーターコアを製造しており、川下企業が製造する製品の省電力化や環境負荷軽減に貢献している。	13.3	
		サーキュラリティ	資源強度		○		12.2 12.5	

※川上の「土壌」のNI、および同社の「ジェンダー平等」のPIは、同社固有のインパクトとして追加する。

※インパクトリーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いため、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、2003年よりISO14001認証を取得し、環境保護と経済活動のバランスを図りながら、環境パフォーマンスの継続的な改善を推進する経営を行っている。また、2007年に「グリーン調達ガイドライン」を制定し、サプライチェーン全体で環境負荷軽減に取り組んでいる。
- カーボンニュートラルの推進に関しては、省エネ法に基づきエネルギー消費源単位でCO₂排出量を対前年比▲1%の削減に取り組んでいる。今後は、製品単位でのCO₂算定開始、LED化、営業車両のハイブリッドや電気自動車への切り替え、フォークリフトの電動化、太陽光発電設備の設置等に取り組んでいく方針である。
- また、作業工程で出る金くずは、全てリサイクル業者へ販売、社内業務のデジタル化により、社内資料のペーパーレス化に取り組むことで、廃棄物削減に取り組んでいる。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 7.2：2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
 - 12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
 - 13.3：気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

社会（Social）

高品質な半導体・電子部品等の供給による半導体業界への貢献

- 同社は、創業以来培ってきた精密金型加工技術を基礎に、半導体リードフレーム、精密プレス部品、電気部品用成形品など、日本の高度製造業を支える基幹部品を提供している。
- ISO9001等の認証取得を受けた品質の高い自社設計の金型を使用した抜き打ち加工技術は世界的にも評価されており、国内外企業の生産活動を支える技術革新に寄与している。また、精密部品の製造のみならず、自動化装置の設計・製造・販売も行い、製造業の省力化・効率化により、国内製造業の生産性向上に貢献している。
- さらに、2028年稼働予定の新工場では、既存工場を含めた再編を行い、成長分野である電子部品需要に対応する予定である。
- このインパクトは「インフラ」のカテゴリに該当し、社会経済面のPIを拡大すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 9.1：全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

ダイバーシティ経営の推進および働きやすい職場環境の整備

- 同社は、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」の認定を受け、毎月 2 回の「ノー残業デー」等の取組により、従業員が働きやすい職場環境を提供している。有給休暇の取得実績は年間 10 日程度であり、休暇制度を増やす等、有給取得推奨を行っていく方針である。今後は、女性管理職の登用も検討し、性別問わず働きやすい職場環境を構築していく方針である。
- このインパクトは「雇用」、「ジェンダー平等」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.5 : 2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
 - 8.8 : 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治 (Governance)

安全な職場環境の整備

- 同社は、従業員が心身共に安全で働きやすい環境を整備するため、「健康経営優良法人」の認定取得を検討している。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.8 : 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

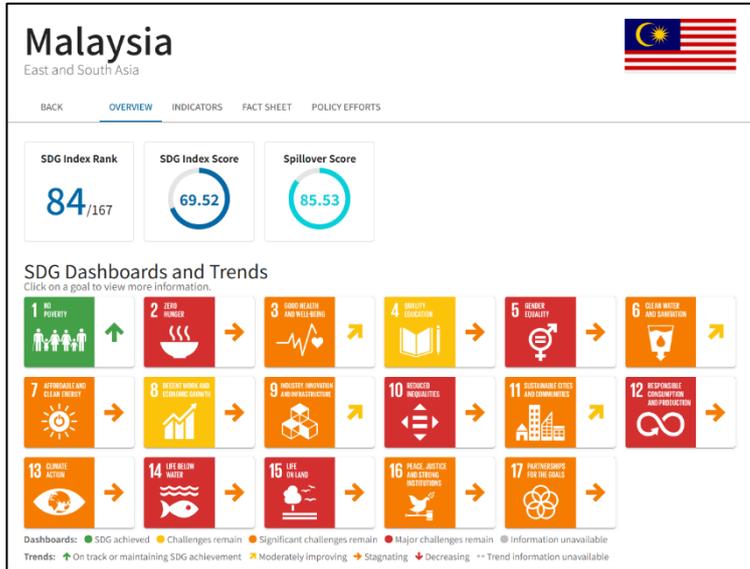
① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「7、8、9」において課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 海外におけるインパクトニーズ

- ・ 同社が営業拠点を持つ「マレーシア」のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- ・ 特定したインパクトに対する SDGs のゴールが、それぞれの国においても重要度が高いことが確認できる。



③ 岐阜県におけるインパクトニーズ

- ・ 岐阜県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

2030 年のあるべき姿

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【「あるべき姿」を実現するための共通認識】

- ・ 森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- ・ 各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- ・ SDGs は地球で暮らす一人ひとりが最低限備えるべきマナーと理解すべき

<環境> 美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- ・ 「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・ 自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用の両立
- ・ 資源循環型社会の形成
- ・ 自然災害への対策の構築

<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

- ・ 伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- ・ サステイナブル・ツーリズムの確立
- ・ DX による産業分野の競争力の発揮
- ・ コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

<社会> 誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築

- ・ 多様な人材の活躍
- ・ 人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- ・ 子育て支援等福祉医療の充実
- ・ デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開

④ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題 (マテリアリティ)
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
高品質な半導体・電子部品等の供給による半導体業界への貢献	地域経済の持続的成長 地域のイノベーション支援
ダイバーシティ経営の推進および働きやすい職場環境の整備 安全な職場環境の整備	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

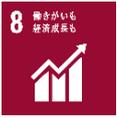
環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「廃棄物」「気候の安定性」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づきエネルギー消費原単位で対前年比 1% の削減を継続する ・製品単位での CO₂ 算定を開始することでサプライチェーンを含めたカーボンニュートラルを推進する ・工場に屋根置き太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの利用を推進する ・社用車のハイブリッドカーへの入れ替えおよびフォークリフトの EV 化ならびに LED 切り替えにより温室効果ガス排出量の削減を推進する ・DX の推進により工場のオートメーション化や事務の省力化および効率化を図る
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2025 年度中に製品単位での CO₂ 算定に着手、2026 年度以降の削減計画を策定し、それに取り組む ・2030 年度までに新設する池田工場への太陽光発電設備の設置を検討する (2025 年 11 月末時点：未設置) ・2030 年度までに既存の営業車両の HV もしくは EV への切り替えを新たに 5 台行う (2025 年 11 月末時点：HV 営業車両数 5 台/全営業車両数 16 台) ・2030 年度までに既存のフォークリフトをすべて EV へ切り替える (2025 年 11 月末時点：EV フォークリフト 1 台/全フォークリフト数 3 台) ・2028 年度までに安八工場の照明を LED 設備に更新する (2025 年 11 月末時点：LED 照明未完了は安八工場のみ) ・2030 年度までに紙の使用量を 2024 年度比 30% 削減する (2024 年度使用実績：645,000 枚) <p>※各項、以降の目標は改めて設定する</p>

高品質な半導体・電子部品等の供給による半導体業界への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「インフラ」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・分散している工場の集約により、物流やコスト効率の非効率を解消し、生産性の向上を図る ・精密金属プレス事業において、パワー半導体、モーターコア（EV）、電子部品（LED）の高成長市場へターゲットをシフトする ・官民連携プロジェクト“琵琶湖半導体構想”にて、次世代半導体素材 GeO₂（二酸化ゲルマニウム）（※）の成膜加工および成膜装置の早期事業化により産業機器や変電設備の省エネおよび効率化に貢献する ※低損失化、小型化、高耐圧化が可能な素材で、シリコン素材と比較して電力変換ロスが 1/10 に抑制できるなどのメリットがある。
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2029 年度までに売上高を 97 億円にする（2024 年度実績：80 億円） ・2028 年度までに次世代半導体素材 GeO₂（二酸化ゲルマニウム）の成膜加工および成膜装置を提供開始する ※各項、以降の目標は改めて設定する

ダイバーシティ経営の推進および安全で働きやすい職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」「ジェンダー平等」「健康と安全」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職登用に向けた職系転換の活性化や、休暇制度の充実による有給休暇取得率の向上などを図り、全従業員の働きがいやワーク・ライフ・バランス実現に向けた職場環境を整備する ・地元中学校からの職業体験および高校、大学から積極的に学生をインターンシップで受け入れ、特に新卒採用に注力する ・健康経営優良法人認定の継続取得を通じて、従業員の健康に配慮した健康経営を推進する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年度までに女性総合職を 4 名にする (2025 年 12 月末時点：女性総合職 2 名) ・2026 年度以降新卒・中途採用を 20 名/年以上の採用を目指す (直近の新卒・中途採用実績 17 名) ・2028 年度までに従業員の有給休暇取得率 70%以上を目指す (2024 年度実績：50%) ・QC 検定 (品質管理検定 2・3 級) の資格保有者を 2028 年度までに 2 級を 8 名、3 級を 70 名にする(2025 年 12 月時点取得者: 2 級 6 名、3 級 61 名) ・2026 年度に、健康経営優良法人認定を取得し、以後継続する <p>※各項目、以降の目標は改めて設定する</p>

4. モニタリング

(1) 日電精密工業株式会社におけるインパクトの管理体制

- 同社では、執行役員近藤経営管理室長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を総務部小林課長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。